上宮寺通信

第八十五号

和顔愛語

今月の20日から26日は秋のお彼岸です。うだるような暑さが少し落ち着き、秋の気配がどことなく感じられるようになる時期となります。

しかし、最近の夏の暑さは異常です。今年も連日、35℃を超える猛暑日が続き、あまりの暑さに気分的にもイライラするような日が多くありました。

そんなイライラ気分がさらに増すような出来事がありました。大相撲を観に行った日のことです。グッズやお土産を売っている物販会場は多くの人でにぎわっていました。冷房が入っているものの人の熱気がむんむんして暑い。そして会計をするにも長蛇の列。最後尾に並んで、10分、15分…。列も動き、だんだんとレジに近づいてあと少しというところで、前に並んでいた人の知人と思われる人が数名どかどかと列に割り込んできました。

何の言葉もなく、さも当然といわんばかりに列に割り込む人たちに内心ムッとして、なんとなくその後の相撲観戦もモヤモヤとした気持ちでした。

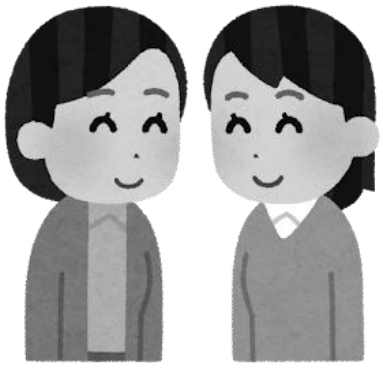
たった一言、「すみません」でも言ってくれれば、こちらも気分良くとはいかないまでも穏やかな気持ちで過ごせたのに…と思ってしまいます。

『仏説無量寿経』の中に「和顔愛語（わげんあいご）にして、意（こころ）を先にして承問（じょうもん）す」という言葉があります。

「表情はやわらかくして言葉はやさしく、相手のこころを汲み取って思いやる」という意味の言葉は、菩薩が行うべき行（ぎょう）のひとつとして挙げられているのですが、娑婆世界に生きている私たちも大事なこととして受けとめるべきではないでしょうか。

インターネットの中では誹謗中傷の言葉が飛び交い、実社会では「我関せず」と殺伐とした感のある現代。相手のことを思いやり、その時々に応じた和やかな表情で言葉をかけていく。様々な関係性を生きていく私たちが本当に大切にしていかなくてはいけないことだと思います。

お彼岸は仏法聴聞の時といわれます。わが身を仏法に照らして、日頃のあり方、生き方を振り返ってみる機会としてお迎えいたしましょう。



◆行事案内

秋季彼岸会・永代経法要

9月8日（月）午前10時～

法要　引き続き　法話

法話　名和正真　師

（清須市久證寺住職）

※午前のみの法要です。持ち帰り用の軽食をご用意いたします。

本山報恩講団体参拝（日帰り）

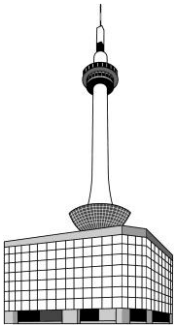
11月27日（木）

東本願寺報恩講（午後）参拝、

世界遺産・平等院　見学　他

参加費　一七、〇〇〇円

定員　35名（定員になり次第締切）



◆話題あれこれ

○35℃近くとなった猛暑の中、お盆（盂蘭盆会）法要には多くの方にお参りをいただき、ありがとうございました。

○9月8日には秋の彼岸会・永代経法要をおつとめいたします。今年は絵解き法話として、御絵伝に描かれた様々な事柄を通して親鸞聖人の生涯をお話しいただきます。皆様のご参詣をお待ちしています。

○お彼岸のお墓参りに行かれる方も多いと思います。9月20日（土）から23日（火・祝）までの間、八事墓地では交通規制がありますのでご注意ください。

○10月1日（水）に中部日本雅楽連盟の定期演奏会が行われます。昨年は会場の工事のため中止でしたので、2年ぶりとなります。住職は管方で出演しますが、楽琵琶と三鼓という初めての楽器を担当します。時間は午後6時半から。会場はアマノ芸術創造センター名古屋（名古屋市芸術創造センター）です。ご興味がありましたら、ぜひ！

○夏の疲れが出やすい時期です。体調を崩さぬよう、どうぞお身体を大切にお過ごしください。

○ホームページ、公式ＬＩＮＥもよろしくお願いします。

ホームページ

公式 LINE

【雑感】

先日、かねてより訪れたいと思っていた黒部ダムへ行くことができました。長野県側から電気バスで映画「黒部の太陽」の舞台となった難工事の場所のある「関電トンネル」を通ってダムへ到着。まず猛暑の名古屋と違い、バスを降りた時の涼しさに感動しました。そして展望台から見たダムは観光放水も行われて雄大そのもの。ずっと眺めていたいくらいでした。しかしこの巨大ダムを建設するために多くの犠牲者が出たのも事実。当時の人々の努力にただ頭がさがる思いでした。（住職記）

【発行】
真宗大谷派
上宮寺
昭和区白金一丁目十九番十五号
☎052-871-0547